

伊住代表ご挨拶

その昔、京都青少年活動推進会議という長い名前の団体がありました。もう御存知の方は少なくなってきましたが、この団体こそ、ゆめっと京都を立ちあげる為の原動力であったといえるでしょう。私は、この団体に関わることから青少年団体の交流に携わってきたのです。25才から指おり数えてみると、もう17年の歳月を経ていることにあらためて驚きを隠せません。お陰様で今日まで、多くの事業にかかわり、又、多くの友と出会いました。その中で学んだことは多く、すべて今の私の財産になっているように思えます。この数年、多忙を理由に充分なお役に立てなかったことは残念でしたが、正直に言えば大きな荷物をおろした様な安堵感を今感じています。これからはお邪魔にならない様に北村会長はじめ皆さんのサポートを陰ながらさせていただくつもりでおります。新しい役員の方々は本当に御苦労様ですが、ゆめっとの更なる充実の為、頑張ってください。

ゆめっとは自身が活動体であり、又交流団体であるという非常に複雑な立場をもったネットワークではあります。いろいろな制約の中で楽しむためには、時間もお金も限られている事は事実です。けれども、そこをなんとかやってやろう!というのも又、若者の特権です。そのヤンチャを先輩達はどうか暖かく見守ってください。あえて言えばゆめっとに伝統は必要ありません。常にあたらしく常に元気よく時代を駆け抜けてほしいのです。いつも新鮮であること!を目指して心からのエールを送りたいと思います。老兵は去るのみ!卒業します!バイバイ!

伊住 政和

竹内幹事長ご挨拶

この度、多くの人々に助けられ、教えられたゆめっと幹事長を任期満了に伴い退任いたします。

思い起せば、5年半前、設立準備委員会で「京都青少年ゆめネットワーク、愛称ゆめっと」の名称制定、設立主旨、自立、共生、貢献の基本コンセプト等、熱き思いで語り合いました。その後、副幹事長、第1回ゆめっとフェスタ実行委員長を兼任しゆめっとをアピールするべく努力致しました。幸い亀岡のフェスタでは23000人の来場が有りそれなりの成果があったと自負しています。しかし幹事長就任後は、内部の拡充とより良いネットワークの構築を目標に掲げましたが、力不足と、ゆめっとに対する共通認識不足、会員に対する説得力不足でこれといった成果を上げられず、結果が出せなかった事を残念に思っています。役員の方々にも牽引力不足で迷惑を掛けました。ただ次期の代表に北村氏という沈着冷静で実行力が有り思慮深くすばらしい方を選出できた事を誇りに思います。

退任にあたり、私が5年半関わったなかで、というよりも18年間の青年会活動の中で最も重要なのは「共生」だと確信しております。お互いの違いを認め合う事で一緒に活動を展開するから、ネットワークが構築出来ると。皆さんも参加し集い、会って顔を見て、情熱を燃やして次期代表を盛り立てて活動してください。

多くの皆さん長い間ありがとうございました。これからもゆめっとの発展を裏方からサポートし見守って行くつもりです。

竹内 文成

北村新代表ご挨拶

この4月より、伊住代表のあとを受けて、ゆめっと京都の代表をさせていただく事になりました。これから2年間は、ゆめっと京都のネットワークづくりに向けて、いろいろと努力していきたいと思っています。まだまだ、行き届かない点が多々あると思いますが、宜しくお願ひしたいと思っています。

私は仕事柄、よく海外に行くことがあるのですが、そのときに感じるのは自分の国のことを良く知らないということです。日本全体というのは、難しいとしてもせめて、京都のことを良く知りたと思っています。私もゆめっと京都に関わるようになってから、京都府のあちこちに行く機会ができましたが、今年は行く機会をつくってもっと京都の事を知りたいと思っています。京都は南北に長く、その地域をネットワークで結ぶのは、簡単な事ではありませんが、幸い今はインターネット等の利用により、以前よりは連絡手段が便利になりました。しかし、お互いが顔の見える関係をつくるためには、時間をかけていかなければならないと考えています。

今年度は北・中部ブロック委員会を設置して、北・中部の地域でもゆめっと京都の集まりをやっていただくようお願いしています。京都市内での集まりに宮津や舞鶴地区から参加して頂くのは、時間の関係で困難な点があると思いますが、1時間程度で集まれる場所にて開催していけば、今よりも参加しやすくなるのではないのでしょうか。大きなイベントを実施する中で、お互いの関係をつくっていくやり方もいいと思いますが、時間やコストの関係で不可能になってきています。もっと手軽に5人から10人位の集まりでも良いですから、自分達の所属団体の問題を意見交換するとか、商売や地域の事について話をするとかといったことからでも、有意義な事ではないのでしょうか。

ゆめっと京都の為に何かをやろうというのではなく、自分達のためにゆめっと京都を利用していただきたいと思っています。私もゆめっと京都の関係で、いろいろな事業に参加させて頂き、いろいろな人と知り合いになっていければ、もっと京都の事を知ることができるのでは無いかと楽しみにしています。地域のため京都のためにと方に力を入れるのではなく、自分達が楽しめるような関わり合いができれば良いかなあとと思っています。比較的特徴のある顔をしていますので、私の顔を覚えていただけるよう皆様とお会いすることがあれば、気軽に声をかけていただければ幸いです。

北村 隆幸

永井新統轄ご挨拶

平成12年度京都青少年ゆめネットワークの「統轄」という役職になりました永井崇博(たかひろ)です。「統轄」とは聞き慣れない名称ですが、内閣でいえば官房長官、学校でいえば教頭センセ、サッカーでいえばミッドフィルダー、UNO でいえば Wild といったところでしょうか？これ以上例えると更に解らなくなるのでこの辺でやめておきます。要は、代表の意を受けて各委員長と協力して会務を遂行するという役回りです。

思い起こせば私がこのような青少年活動の団体に関わるようになったのは、もう15、6年前に遡ります。現在も続けていますが、全国車いす駅伝競走大会の介助ボランティアのスタッフとして参加したのがきっかけで、前幹事長の竹内氏や西村氏との出会いがその始まりでした。以来、いろいろなことを話し合ったり、計画実行したり、また沢山のひとと出会うことが出来ました。これは私の一つの財産だと思っています。気が付けば歳が一回りも(それ以上も)違うスタッフがいたりして驚いたりします。また新たな役職に就いて、新たな出会いやいろいろな意見のやりとりを楽しみにしたいと思っています。

ゆめっと京都は発足して5年目になります。いろいろな考え方がありますが、ここ数年の間にゆめっとの位置づけとか役割がはっきりしてくるのではないかと考えています。情報の発信は当然致しますが、加盟団体からのご意見や要望、情報がなければ有効な情報を発信することができないと思いますので、ただ情報を待っているだけではなく、能動的に主体的に情報の収集発信ということを心がけて頂きたいと思っています。よろしくお願ひします。

永井 崇博

団体名 **京都府レクリエーション協会** 33-1

活動内容 レクリエーション関連の府内 30 団体の情報交換。レクリエーションの指導者の育成・指導並びに指導者派遣。京都府などからの受託事業の実施。指導者資格の認定。

会員数 個人約600人 30団体

主な活動場所 京都府スポーツセンター内

他の団体に提供できる『物』『人』『情報』
レクリエーションに関する各種情報・用品の販売・講師の派遣。
レクリエーションインストラクター資格取得に関する情報。

お問い合わせは 水澤さん・真名子さんまで（火・木・金曜日）
電話・FAX 075-692-3482

団体名 **京北若杉太鼓** 33-2

活動内容 京北町内の三校の小学生で構成し、太鼓を通じて学校間の交流を図っています。また、ボランティア団体として色々な所で太鼓を打っています。練習は月2回木曜日に京北太鼓道場で行っています。

会員数 約8人

主な活動場所 京北町内

現在の活動の中で困っている事や悩み事など
会員の数が少ない事と指導者が1人しかいない事です。

お問い合わせは 水地 清治さんまで 電話 0771-54-0842

団体名 **CHANT (チャント)** 33-3

活動内容 ゴミ問題を継続事業として取組み、家庭で出来るリサイクルを呼び掛けるパンフレットの作成。また、錦秋恒例の峰山産業まつりにおいては、実際にアイデアを募集し、リサイクルコンテストの開催及び環境アンケート（住民の意識調査）を実施。懇親会等も随時開催。今後はメンバー以外の方にも積極的にアピールし、会員拡大を目指す目的で講演会・勉強会（堅苦しくなくユニークなもの）の開催、パソコン研修会の開催（ホームページの開設等）を計画しています。

会員数 15人

主な活動場所 会議は峰山町商工会にて行っています。

他の団体に提供できる『物』『人』『情報』
イベント情報の他、地元おもしろ情報の提供。

現在の活動の中で困っている事や悩み事など
新規加入の会員が少ない事。

お問い合わせは 田中 勇さんまで 電話 0772-62-0342
FAX 0772-62-3553

33

団体名 アジア研究会 33-4

活動内容 アジア研究会の情報を1ヵ月に1度、会員に発行しています。

会員数 16人

主な活動場所 京都

他の団体に提供できる『物』『人』『情報』
人を提供できます。

現在の活動の中で困っている事や悩み事など
募金が集まらない。活動資金が無い。

お問い合わせは 村田 賢輔さんまで 電話 075-541-1312 (熊木さん)
FAX 075-541-7627

団体名 綾部国際交流クラブ 33-5

活動内容 年に1~2度ホームステイ(主にオーストラリア)の受け入れ

会員数 30人

主な活動場所 綾部市志賀郷町

現在の活動の中で困っている事や悩み事など
活動資金不足(ホストファミリーの負担が大きい)

お問い合わせは 井上 吉夫さんまで 電話 0773-49-1356
FAX 0773-49-1124

団体名 京都府林業研究グループ連絡協議会青年部 33-6

活動内容 国産材(特に京都府内産材)を住宅建設に活用してもらう為、木の良さを知ってもらうPR活動をしています。また、良い質の木材を作る為の技術について情報交換をしています。

会員数 26人

主な活動場所 京都府下一円

他の団体に提供できる『物』『人』『情報』
木工教室の開催の為の材料・道具・スタッフの応援など。

現在の活動の中で困っている事や悩み事など
部員数が増えない。若年者の加入がない。部員の高年齢化など。

お問い合わせは 岸本 幸三さんまで 電話・FAX 075-571-4905

団体名 京都府漁業士会 33-7

活動内容 魅力のある漁村と活力ある漁業をめざして「人づくり」（後継者の育成確保）「海づくり」（海の環境保全、安定した生産確保）「新時代への提案」（将来を見据えた課題等の議論検討）を内容とした活動。

会員数 43人

主な活動場所 府内沿海の漁港・漁業協同組合・京都府水産事務所など。

現在の活動の中で困っている事や悩み事など
府知事が漁業士として認定した者が自動的に会員となるシステムになっていることもあって、なかなか会員全員が自発的に活動するところまで至っていないのが現状である。毎回の活動に全員参加することは無理としても、活動に参加するメンバーが固定化してきているのは問題である。

お問い合わせは 事務局まで 電話 0772-22-3288
FAX 0772-22-3289
E-mail ktgyogyousi@mx.nkansai.ne.jp

団体名 京都YMCA 33-8

活動内容 1. 体育・レクリエーション・キャンプ・野外活動
2. 英語・日本語・職能教育 3. 国際交流・国際理解教育
4. ボランティアグループの育成
5. 青少年の精神・知性・身体及び社交性の向上の為の講座・研修会

会員数 3300人

主な活動名所 自施設の三条本館・今出川青少年センター等を拠点として活動展開は京都府下及び他府県にまたがる

他の団体に提供できる『物』『人』『情報』
YMCAボランティアグループの具体的な活動内容など各種の情報。
宇治のリトリートセンター（研修施設）の提供（有料）

お問い合わせは 京都YMCAまで 電話 075-231-4388
FAX 075-251-0970

団体名 南山城村青年団 33-9

活動内容 現在「活動休止中」の状態です。

お問い合わせは 南山城村教育委員会まで 電話 07439-3-0580
FAX 07439-3-0596

編集後記

2年前、「ゆめっと京都に加盟する団体のお互いの顔が、なんとか見えないものか」と試行錯誤して始めた『ゆめっと図鑑』。お忙しい皆様の手を煩わせながら、なんとかほとんどの団体を紹介することが出来ました。調査表の返りが悪く、何度もお願いをしてきましたが、お返し頂けなかった団体があることは非常に残念です。しかし、ほとんどの団体は調査表の主旨をご理解頂き、ご協力頂けたこと、この場を借りてお礼を申し上げます。有難うございました。

『ゆめっと図鑑』を連載するうちに、これだけでは足りないことを再認識し、今度は、相互交流に利用できないかと『使えるINDEX』を思案中です。直接、お互いに連絡をとれなくても、ゆめっと京都に「こういうことをしたいけど、どこか協力してくれそうな団体ないかなあ」とか「こんなことを教えてほしい」「適当な場所ないかなあ」など、ゆめっと京都が今後、団体や個人間のコーディネーターとしての役割を担えるようなものを作れるようにしたいと考えています。秋くらいになるかもしれませんが、このままファイルに閉じてお待ち下さい。

2年間の広報活動を振り返ると、反省する事ばかり。広報委員長という役職に就きながら、力不足で申し訳ない気持ちで一杯です。これからの2年間はまた新しい体制の広報委員会が活動します。いろいろなお叱りやご不満はあると思いますが、今後もゆめっと京都は、試行錯誤しながら、皆様のご協力や叱咤激励を頂きながら、進んでいきます。まだまだ若い組織です。つまりいたり転んだり、心配ばかりかけるかもしれませんが、どうぞ暖かく見守り、また協力して下さい。そして、ゆめっと京都を作っているのは、皆さん「ひとりひとり」だという意識をもって、いろいろなことに参加してみてください。今まで見えなかったものや、出会えなかった人達に出会えたりするかもしれません。それは、皆さんにとって「素晴らしい財産」に成りうるものではないでしょうか？

至らない広報委員長を支えてくださった皆さんに心から感謝しています。

そして、これからも「ゆめっと京都」を、どうぞよろしくおねがいします。

ゆめっと京都 平成10年度～11年度 広報委員長
近畿青年洋上大学京都府同窓会 黒田 恭代